

## 1 団体の状況

## 株式会社 神奈川共立 (代表団体)

## 会社概要

設立	昭和 60 年 11 月 11 日
所在地	〒220-0073 横浜市西区岡野二丁目 6 番 6 号 ISAビル 4 階
連絡先	TEL:045-313-0600 FAX:045-313-0606
代表取締役	大久保 芳一
資本金	1,000 万円
従業員数	106 名(嘱託社員 4 名、契約社員 24 名、アルバイト 46 名を含む) 【2015 年 3 月末現在】
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 劇場、イベント施設、スポーツ施設、スタジオ等の運營業務・制作業務ならびに照明・音響・舞台機構・映像設備等の管理・設計・施工および操作業務</li> <li>・ 劇場、イベント施設、スポーツ施設、スタジオ等における機器、機材、大道具備品の販売、レンタルおよび保守業務</li> <li>・ 音楽・演劇・スポーツ・展示・会議・式典等に関するイベントの企画、制作業務</li> <li>・ 販売促進用商品等の企画、制作、販売および著作権の管理</li> <li>・ 放送番組・イベント等での照明、音響、映像技術のサービス及び美術デザイン</li> <li>・ インターネットコンテンツの企画・制作および情報提供サービス</li> <li>・ 広告、宣伝、販売促進に関連する展示・装飾の企画および制作業務</li> <li>・ 印刷、製版、出版の企画および制作業務</li> <li>・ 建築物の設計、施工および工事監理</li> <li>・ 電気工事業・電気通信工事業</li> <li>・ ビルメンテナンスサービス業務</li> <li>・ 警備保障業務</li> <li>・ 老人介護等福祉施設の運営および介護士の派遣</li> <li>・ 飲食業</li> <li>・ 広告代理業</li> <li>・ 上記に付帯する一切の業務</li> </ul>

## 会社の取組・方針

## ●横浜市をはじめ、神奈川県内で多数の施設管理実績を蓄積

- ・ 当社の活動は、当社の前身で、グループ企業の中核である「株式会社 共立」(大手の舞台管理会社)が、昭和 53 年の厚木市文化会館の開館を契機に、神奈川県内で、海老名市、綾瀬市等の市民ホールの照明・音響・舞台技術操作業務を受託してきたことに始まる。
- ・ その後、昭和 60 年に当社は株式会社共立から独立し(海老名市に本社を設置)、平成 8 年には、本社を横浜市に移転して、**横浜市を中心に事業領域を大きく拡大している。**
- ・ 主に神奈川県内で、文化施設・多目的ホールのコンサルティングや管理運營業務、各種イベントの企画制作など、様々な分野で実績を培ってきた。
- ・ 近年は、指定管理者事業にも積極的に取り組み、平成 18 年 4 月より、代表企業としては、本施設を含む、横浜市の「**栄区民文化センター**」「**泉区民文化センター**」、横須賀市の「**文化会館・はまゆう会館**」(2館一括)、構成団体としては、横浜市の「**神奈川区民文化センター**」「**青葉区民文化センター**」「**旭区民文化センター**」「**長浜ホール**」、海老名市の「**文化会館・市民ギャラリー**」(2館一括)、計 7 件の指定管理者となっている。

団体名

神奈川共立・ハリマビシステム共同事業体

# 1 団体の状況

## ● “文化芸術の総合商社”として「信用」「英知」「和」を結集

- ・ 当社は、共立グループとともに「信用を重んじ、英知の限りを尽くし、和を大切にす」という社是を共有し、常に技術の研鑽に励み、ハード・ソフト両面で一層の充実を心がけている。
- ・ 今後も、「文化芸術の総合商社」として、お客様の要望にお応えすべく、誠心誠意、努めていきたい。

### ＜社是＞

信用	会社の信用を重んじ顧客に満足される業務を提供し広く社会に貢献する
英知	英知を育て技術の革新をはかり常に経営の前進につとめる
和	和と協調につとめ共立グループの総力を結集し <b>四者共益</b> (取引先、資本、労働、経営)をはかる

## 特長～「施設管理業務」に関して

### ●優れた技術と対応力を持った「舞台管理のエキスパート」

- ・ 様々な管理運営の実績を活かして、公共・民間の文化施設(文化会館等)、劇場、ライブハウス、スタジオの業務委託によるコンサルティングを始め、優れた技術と対応力をもって、照明・音響・舞台・映像等の舞台技術の管理運営を行っている。

### ●文化事業での「豊富な提案力」と、行政・利用者等との「緊密な連携・協力」

- ・ 指定管理者としては、照明・音響・舞台の舞台技術の管理運営をはじめ、豊富な経験に裏付けされたイベント制作のノウハウを活かし、**バラエティに富んだ文化事業**を提案している。
- ・ また、当社の社是である“**四者共益**”に基づき「**行政・指定管理者・利用者・住民**」による連携・協力関係を大切に、「**施設の新しい魅力づくり**」を実現している。
- ・ ハード(建物)は時の経過で古びても、“**ソフトは常に新鮮**”をモットーに、共立グループの幅広いネットワークも活かして、皆様のご要望に沿って、より良い施設運営を目指している。

## グループ企業

### ●全国13社との「幅広いネットワーク」を形成

- ・ 当社は、下記の通り、北海道から九州まで、全国13社とのグループを形成し、現在、**160件以上の公共施設**(PFI、指定管理、業務委託等)の管理運営を行っている。

### ＜グループ憲章(趣旨)＞

- ・ 共立グループは各社の定める定款に基づき、それぞれの技術を株式会社共立(本社)を中心として結集、創造性に富んだ活動を発揮し、広く芸術・文化の高揚に貢献する。
- ・ 共立グループは企業活動の社会的責任を自覚するとともに、常にグループの信用を重んじ、研鑽を重ね、英知を育て技術を革新し、和をもって総力を結集し、顧客の信頼を得て**四者共益**(取引先、資本、労働、経営)をはかる。
- ・ 上記の目的達成のため、グループ各社はお互いの主体性を尊重し、協調をはかるとともに自らの経営の責任において業務を組み立て、グループ全体の恒久的発展のために努力するものである。(昭和49年7月1日制定)

株式会社 共立	東京都渋谷区代々木
株式会社 東京共立	東京都渋谷区代々木
株式会社 共立映像	東京都渋谷区代々木
株式会社 共立ライティング	東京都渋谷区代々木
株式会社 共立ファシリティ・マネージメント	東京都渋谷区代々木
株式会社 北海道共立	札幌市中央区
株式会社 東北共立	仙台市太白区
株式会社 千葉共立	千葉市花見川区幕張本郷
株式会社 名古屋共立	愛知県名古屋市中川区
株式会社 大阪共立	大阪市東成区
株式会社 北陸共立	石川県金沢市
株式会社 九州共立	福岡市博多区
ケイ・アンド・ケイ 株式会社	神奈川県厚木市

団体名

神奈川共立・ハリマビシステム共同事業体

## 1 団体の状況

## 株式会社 ハリマビステム (構成団体)

## 会社概要

設立	昭和 36 年 10 月 6 日
所在地	〒220-8116 横浜市西区みなとみらい二丁目 2 番 1 号 横浜ランドマークタワー16階
連絡先	TEL:045-224-3550(代表) FAX:045-224-3551
代表取締役	鴻 義久 (おおとり よしひさ)
資本金	6 億 5,446 万円
従業員数	4,290 名 (パート社員 3,083 名、出向社員 24 名を含む)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清掃管理業務(日常清掃、定期清掃、カーペットクリーニング、窓ガラス清掃、照明器具清掃、外壁洗浄)</li> <li>・ 設備運転管理業務(電気設備監視・運転管理、機械設備監視・運転管理、24 時間監視緊急対応(ビル管理システム))</li> <li>・ 警備・保安業務(受付、出入管理、巡回点検、監視、開閉館、緊急事態対応、駐車場管理)</li> <li>・ 設備保守点検・工事営繕業務・環境衛生管理業務(設備・環境衛生法定点検検査、給排水設備・冷暖房・空調設備・建築設備・電気設備・消防設備の点検・工事営繕)</li> <li>・ PFI 事業、指定管理業務</li> <li>・ プロパティマネジメント業務(PM・総合ビル運営管理)</li> <li>・ その他のサービス業務(ホテル客室整備、電話交換・受付案内)</li> <li>・ その他の事業(居宅介護サービス、トナー販売、不動産賃貸)</li> </ul>
株式上場	東京証券取引所 (JASDAQ スタンダード) (銘柄コード9780)

## 会社の取組・方針

## ● 「多様なニーズ」と「環境の変化」に応じた事業環境づくり

- ・ ビルメンテナンス業界では、お客様の「インフラ整備への意識」や「省エネへの関心」が高まり、多様化・高度化するニーズの増大に応えることが急務となっている。当社は、こうした変わりゆく環境の中で更なる顧客満足を実現するため、『社会情勢』『マーケット』『顧客ニーズ』、それぞれの変化をいち早く捉え、その変化に柔軟に対応していく事業環境を整えることが不可欠と考えている。

## ● ビルメンテナンスを基軸に「幅広い事業」を積極的に展開

- ・ これまで、長い間、専門技術を培いながら、「ビルメンテナンス事業」を主軸に幅広く展開してきたが、現在は、従来事業にとどまらず、PFI・指定管理などの「官民連携事業」、不動産に関する「プロパティマネジメント事業」や「省エネ事業」など、業務を積極的に拡大している。
- ・ 「専門技術のさらなる追求」や「品質管理の強化」を図りつつ、どのような分野でも「品質の高いサービス」を提供できるよう努めている。

## ● “人は財産”を基本にして「人材育成」に注力

- ・ 当社は、「人」を大切な財産と考えている。事業の根幹を担う「人材育成」において、個々の確実なスキルアップが会社の成長に繋がることを確信し、現状に留まらず常に挑戦し、歩み続けるためにも、研修や社内評価などの取組を拡充している。
- ・ これからも、お客様のニーズを真摯に受け止めながら、“進化したビルメンテナンス”を追求し、社会に大きく貢献していきたいと考えている。

団体名

神奈川共立・ハリマビステム共同事業体

# 1 団体の状況

## 特長

### ●「横浜市」に根ざした、長年の地元会社として

- ・当社は、横浜市で創業し、今期で54期を迎える会社である。公官庁、民間企業での幅広い取引先を持ち、「地域に根ざした組織体制」を構築している。

### ●「社名」の由来

- ・Building(建物)、Be(存在する)、Best(最善)の頭文字「B」と、幹・軸を意味する「STEM」を組み合わせた造語で、「当社の業務がビルの快適環境を創造していくうえで重要な根幹となっていること」を表している。さらに「ビルについてのシステムチックで総合的かつ効率のよい管理・運営」という意味を表現する頭文字となっている。
- ・「B・stem」(ビステム)とは、常に「人、街、社会、地球」を視野に置き、蓄積されたノウハウと高度な技術力を発揮していきたい、という、**当社の決意の集約**である。

### ●当社を支える「4つの力」

#### ①総合力

- ・幅広い事業領域でお客様のあらゆるニーズにワンストップで対応する。
- ・総合ビルメンテナンス企業として**主要三業務(清掃・設備・警備)**に加え、建物に関わる様々なサービスを広範囲・高品質で提供する。

#### ②チーム力

- ・約4,000名の現業部門のスタッフを保有し、物件担当者との連携によりお客様のニーズに的確に応える。また、**社内の専門部門(エンジニアリング部門、技術開発部門、カスタマーサービス室等)**により安心のバックアップ体制を整備している。

#### ③技術力

- ・半世紀にわたり蓄積された**独自のノウハウと高度な技術力**に加え、多種多様な用途の2,000件を超える豊富な受託実績に裏付けられた信頼性の高いサービスを提供する。

#### ④機動力

- ・24時間設備緊急センターを社内に配備し、建物・設備のトラブルに対し緊急出動体制を整えている。また、物件毎に担当者を配置し、お客様の要望に迅速かつ柔軟な対応を実現している。

### ●「独立系」の強み

- ・当社は、設備・機器のメーカー企業など、**いずれの系列にも属さない「独立系企業」**である。
- ・業種・規模・系列にとらわれず**専門性・効率性・透明性**を追求し、**独自の維持管理手法の研究開発**による高い技術力、提案力、コスト競争力には自信がある。
- ・「サービス」「品質」「コスト」の最適化を追求、「**カスタマーファースト**」のサービスを目指している。

## 支店・営業所

### ●首都圏を中心に「幅広い事業拠点」を確立

- ・本社のある神奈川県(横浜市)をはじめ、「首都圏」(東京都、千葉県、埼玉県、等)を中心に、全国で10か所の支店・営業所を展開している。

神奈川本部	神奈川県横浜市西区みなとみらい
東京本部	東京都台東区浅草橋
千葉支店	千葉県千葉市中央区
埼玉支店	埼玉県さいたま市大宮区宮町
PPP本部	東京都港区西新橋
港支店	東京都港区西新橋
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区丸の内
静岡営業所	熱海市春日町
相模原営業所	相模原市中央区相模原
足立営業所	東京都足立区千住河原町

団体名

神奈川共立・ハリマビステム共同事業体

## 2 団体の実績

## 同類施設の業務実績

株式会社 神奈川共立 (代表団体)

## ●指定管理施設の実績

施設	自治体	所在地	施設概要	業務内容	指定期間
横浜市鶴見区民文化センター	横浜市	横浜市鶴見区鶴見中央	ホール(通常席時:548席、拡張席時:650席、平土間時:最大700人収容)・音楽ホール(100席)・ギャラリー・リハーサル室・練習室・情報コーナー	・受付業務 ・事業企画制作 ・舞台技術管理	2011.3.4 ~ 2016.3.31
横浜市泉区民文化センター	横浜市	横浜市泉区	ホール(386席)・ギャラリー・リハーサル室・創作室・会議室・情報コーナー	・受付業務 ・事業企画制作 ・舞台技術管理	2006.4.1 ~ 2011.3.31 2011.4.1 ~ 2016.3.31
横浜市栄区民文化センター	横浜市	横浜市栄区小菅ヶ谷	ホール(300席)・ギャラリー・会議室・音楽ルーム・練習室・情報コーナー	・受付業務 ・事業企画制作	2006.4.1 ~ 2011.3.31 2011.4.1 ~ 2016.3.31
横須賀市文化会館/横須賀市はまゆう会館(二館一括)	横須賀市	横須賀市深田台/横須賀市衣笠栄町	《文化会館》 大ホール(1098席)・中ホール・会議室・展示室・保育室・市民ギャラリー 《はまゆう会館》 ホール(526席)・リハーサル室・展示ギャラリー・多目的室	・受付業務 ・事業企画制作 ・舞台技術管理	2006.4.1 ~ 2010.3.31 2010.4.1 ~ 2014.3.31 2014.4.1 ~ 2018.3.31
海老名市文化会館/海老名市民ギャラリー	海老名市	海老名市上郷/海老名市中央	大ホール(1098席)・小ホール(335席)・リハーサル室・大練習室・和室・学習室・創造室・多目的室・実習室・調理室・サロン・大会議室・練習室	・舞台技術管理 ・市民ギャラリー運営	2006.4.1 ~ 2011.3.31 2011.4.1 ~ 2016.3.31
横浜市長浜ホール	横浜市	横浜市金沢区長浜	ホール(104席)・多目的ルーム・音楽練習室・会議室	・舞台技術管理	2006.4.1 ~ 2011.3.31 2011.4.1 ~ 2016.3.31
横浜市神奈川区民文化センター	横浜市	横浜市神奈川区東神奈川	ホール(300席)・ギャラリー・音楽ルーム・練習室・情報コーナー	・舞台技術管理	2006.4.1 ~ 2011.3.31 2011.4.1 ~ 2016.3.31
横浜市旭区民文化センター	横浜市	横浜市旭区二俣川	ホール(300席)・音楽ホール(103席)・アートギャラリー・ミーティングルーム・カルチャー工房・音楽工房	・舞台技術管理	2011.4.1 ~ 2016.3.31
横浜市青葉区民文化センター	横浜市	横浜市青葉区青葉台	ホール(500席)・リハーサル室・練習室	・舞台技術管理	2013.4.1 ~ 2017.3.31

## ●その他の類似実績(業務委託)

施設	自治体	所在地	施設概要	業務内容	委託期間
横浜市鶴見区民文化センター	横浜市	横浜市鶴見区鶴見中央	ホール・音楽ホール・ギャラリー・リハーサル室・練習室・情報コーナー	・開館準備等業務	2010.8.20 ~ 2011.3.3
厚木市文化会館	厚木市	厚木市恩名	大ホール(1400席)・小ホール(376席)・集会室・会議室・和室・展示室	・舞台関係業務	1989.4.1 ~ 現在
綾瀬市文化会館	綾瀬市	綾瀬市深谷	大ホール(1350席)・小ホール(330席)・リハーサル室	・舞台関係業務	1988.4.1 ~ 現在
小山町総合文化会館	小山町	静岡県駿東郡小山町阿多野	大ホール(996席)・多目的ホール(300席)・会議室・談話室・和室・展示室・視聴覚室他	・舞台設備操作業務	1992.4.1 ~ 現在

団体名

神奈川共立・ハリマビステム共同事業体

## 2 団体の実績

川崎市高津市民館	川崎市	川崎市高津区溝口	大ホール(600席)・リハーサル室・大会議室・会議室・和室・実習室・視聴覚室	・舞台運営管理業務	1998.4.1～ 現在
逗子文化プラザホール	逗子市	逗子市逗子	なぎさホール(555席)・さざなみホール(160席)・ギャラリー・練習室	・舞台技術・受付等業務	2005.5.1～ 2014.3.31
座間市立市民文化会館	座間市	座間市緑ヶ丘	大ホール(1310席)・小ホール(232～410席)・リハーサル室・練習室・ギャラリー・常設展示室・会議室・和室他	・舞台・音響・照明設備操作、管理業務	2000.6.1～ 現在
桐蔭学園シンフォニーホール	学校法人	横浜市青葉区鉄町	ホール(1769席)	・照明技術業務	1989.10.1～ 現在
葉山町福祉文化会館	葉山町	三浦郡葉山町堀内	ホール(507席)・練習室・第会議室・集会室・教養娯楽室	・ホール音響・照明・舞台設備、操作業務	1988.11.1～ 現在
はまぎんホール ヴィアマーレ	銀行	横浜市西区みなとみらい	ホール(517席)	・設備管理業務等	1996.4.1～ 現在
三浦市民ホール	三浦市	三浦市三崎	ホール(450席)	・ホール管理	2002.6.1～ 現在
横浜BLITZ	民間商業施設	横浜市西区みなとみらい	収容人数1700人	・ホール管理	2004.11.1～ 2013.10.31
赤坂BLITZ	民間商業施設	東京都港区赤坂	収容人数1298人	・ホール管理	2008.3.1～ 現在
クイーンズサークル	民間商業施設	横浜市西区みなとみらい	イベントスペース	・照明・音響・映像各設備管理	1998.11.1～ 現在
神奈川県立相模湖交流センター	神奈川県	相模原市緑区	多目的ホール(456席)・アートギャラリー・研修室・レッスン室・情報コーナー他	・音響・照明・舞台設備操作業務委託	2000.4.1～ 2011.3.31
横浜市港南区民文化センター	横浜市	横浜市港南区	ホール(381席)・音楽ルーム・会議室・練習室・ギャラリー・情報コーナー	・舞台・音響・照明等操作業務	1997.5.1～ 2006.3.31
川崎市男女共同参画センター	川崎市	川崎市高津区	ホール(850席)・多目的室・会議室・研修室	・舞台運営管理及び関係業務	2002.4.1～ 2006.3.31
県立県央労働福祉会館ホール(厚木労働センター)	神奈川県	厚木市水引	ホール(393席)・会議室・和室・娯楽室・料理実習室	・舞台道具・吊物昇降装置・音響技術・照明設備、映写設備技術管理	1989.4.1～ 1997.3.31
日テレらんらんホール	民間商業施設	東京都稲城市矢野口	ホール(最大1000人)	・ホール管理	2014.3.31～ 現在

## 株式会社 ハリマビステム (構成団体)

## ●指定管理・PFI 施設の実績

施設	発注者	所在地	施設概要/機能	業務内容	指定期間
横浜市鶴見区民文化センター	横浜市	横浜市鶴見区鶴見中央	ホール(通常席時:548席、拡張席時:650席、平土間時:最大700人収容)・音楽ホール(100席)・ギャラリー・リハーサル室・練習室・情報コーナー	・清掃業務、設備保守管理、機械警備	2011.3.4～ 2016.3.31

団体名

神奈川県立・ハリマビステム共同事業体

## 2 団体の実績

横浜市戸塚区 民文化センター (戸塚駅西口第 1地区第二種市 街地再開発事業 に伴う公益施設 整備PFI事業)	横浜市	横浜市戸塚 区戸塚町	ホール(451席)・ギャラリー (2室)・リハーサル室(定員 80名)・練習室(3室)・創作 室	・建築物保守、建築設備保 守、外構施設保守、 ・植栽管理 ・清掃 ・警備 ・駐車場運営、駐輪場管理 運営	2013.3.1 ~ 2027.3.31
横浜市瀬谷公 会堂 (横浜市瀬谷区 総合庁舎及び二 ツ橋公園整備P FI事業)	横浜市	横浜市瀬谷 区二ツ橋町	講堂(506席)・リハーサル室 1(定員29名)・リハーサル室 2(定員32名)・会議室1~3 (定員18名)・和室(定員20 名)	・建築物保守、建築設備保 守 ・駐車場・駐輪場管理 ・外構施設保守 ・植栽保守管理 ・清掃、警備	2010.11.13 ~2026.3.31
新横浜公園 (日産スタジア ム)	横浜市	横浜市港北 区小机町	横浜国際総合競技場・屋内 プール・小机競技場・投てき 練習場・野球場・第1~3運 動広場・テニスコート・草地 広場・レストハウス・遊具広 場	・清掃、設備管理 ・有料施設受付 ・官公庁関係書類作成業務 ・自主事業に伴う管理	2015.4.1 ~ 2022.3.31
大和市勤労 福祉会館	大和市	大和市鶴間	ホール(定員200名)・中会 議室(定員36名)・小会議室 (定員12名)・茶室(定員30 名)・和室(定員18名)・工作 室(定員18名)・調理室(定 員20名)	・清掃、設備管理 ・警備 ・受付 ・植木剪定	2011.4.1 ~ 2016.3.31

## ■その他の類似実績(業務委託)

施設名称	自治体	所在地	施設概要/機能	業務内容	委託期間
横浜市鶴見区民 文化センター	横浜市	横浜市鶴見 区鶴見中央	ホール・音楽ホール・ギャラリ ー・リハーサル室・練習室・情報 コーナー	・開館準備等業務	2010.8.20 ~ 2011.3.3
横浜市神奈川区 民文化センター	横浜市	横浜市神奈 川区東神奈 川	ホール(300席)・ギャラリー(2 室)・音楽ルーム・練習室(2 室)・情報コーナー	・清掃業務 ・設備保守点検	2011.3.5 ~ 2016.3.31
パルテノン多摩 (多摩市立複合 文化施設)	多摩市	東京都 多摩市落合	大ホール(1,414席)・小ホール (304席)・リハーサル室・練習室 (2室)・学習室・アトリエ・市民ギ ャラリー・展示室・会議室(6室)・ 和室(2室)・歴史ミュージアム	・設備管理 ・設備保守点検 ・警備 ・清掃	1987.2 ~ 現 在
府中の森芸術 劇場	府中市	東京都 府中市 浅間町	どりーむホール(2,027席)・ウィ ーンホール(定員522名)・ふる さとホール(504席)・会議室(3 室)練習室(4室)・リハーサル室 (3室)	・統括管理 ・設備管理 ・設備保守点検 ・清掃 ・警備	1991.3 ~ 現 在
県民共済みらい ホール (県民共済プラザ ビル)	横浜市	横浜市中区 桜木町	ホール(300席)	・清掃	2004.3.15 ~ 現在
座間市立市民 文化会館	座間市	座間市 緑ヶ丘	大ホール(1,310席)・小ホール (232~410席)・リハーサル室・練 習室(2室)・ギャラリー・常設展 示室・大会議室(定員64名)・中 会議室(定員45名)・小会議室 (定員16名)・大和室・小和室・ 和室	・設備管理 ・設備保守管理	1995.8.1 ~ 現在
横浜アリーナ	横浜市	横浜市 港北区 新横浜	メインアリーナ(定員17,000名)・ センテニアルホール(定員700 名)・サブアリーナ	・清掃	2011.1.1 ~ 現在
横浜赤レンガ 倉庫1号館	横浜市	横浜市中区 新港	ホール(300席)・展示室(3室)・ スポット	・清掃	2002.4.1 ~ 現在

団体名

神奈川共立・ハリマビシステム共同事業体

## 2 団体の実績

アミューあつぎ	厚木市	神奈川県厚木市中町	ホール(112席)・多目的スタジオ・音楽スタジオ(3室)・ミュージックルーム(2室)・活動室(17室)・アートギャラリー(4室)・アトリエ・和室(4室)・調理実習室	・統括管理 ・設備管理 ・警備、清掃 ・施設運営(受付・電話応対業務、プロパティマネジメント補助)	2014.4.1 ~ 2017.3.31
---------	-----	-----------	--	--	-------------------------

### 本施設（鶴見区民文化センター）の管理実績～「現指定管理者」として

#### 全体的な総括

##### ●開館以来の指定管理者として「スムーズな運営・管理」を実現

- ・私たち神奈川共立・ハリマビシステム共同事業体(以下、当事業体)は、平成23年3月開館時から、現指定管理者として本施設の管理運営を任せていただいているが、開館後4年を経て、スタッフも業務に慣れ、区民の方々に利用方法等が浸透して、今では事故やトラブルもほとんどなく、スムーズな運営・管理ができています。

##### ●「認知度の更なるアップ」を目指して、「アウトリーチ」や「情報発信」に注力

- ・特に近年は、本施設内での事業だけでなく、積極的に外に出かけて、より多くの人達に本施設とその活動を知っていただくことに力を入れている。とりわけ、直近の平成26年度では、従来以上にレジデントアーティストも活用して、「アウトリーチ」や「アドパフォーマンス」(＝本番演奏の宣伝を兼ねた、無償の屋外ミニ演奏会)などを多数行った(年間で合計16回)。
- ・また、区内等でのチラシ配架場所(公共・民間施設等)を増やすなど、従来の広報力を充実させるとともに、ホームページの大幅リニューアル(スマートフォン対応化等)をはじめ、ツイッター・メルマガなど、「インターネットを通じた情報発信」を積極的に行っている。

##### ●利用率の着実な向上 ～「開館以来のノウハウ・経験」の更なる活用へ

- ・こうした不断の工夫と努力によって、直近の平成26年度では、前年度比で「稼働率」(ホール、ギャラリー、リハーサル室等)が2.8%、「利用人数」(全施設合計)が7.6%、それぞれ増加した。これに伴い、平成26年度は、利用料収入も、前年度比で「1.0%増」となった(25年度は5.3%増)。
- ・このように、新設であった本施設の利用は着実に定着してきているが、今後は、**私たちが4年間で「積み上げてきたノウハウや経験」**を最大限に活用することによって、更により良い運営・管理に向けて、スタッフが一丸となって日々精進していきたいと考えている。

#### 主な特記事項（直近の活動実績）

##### ●「若手アーティスト育成」の積極展開（レジデントアーティスト事業等）

- ・若手アーティストの活動機会を増やすとともに、本施設を区民により身近な施設としてアピールするため、近年は、レジデントアーティストの出演回数を増やしており、平成26年度では、ソロコンサートに加え、2組以上が同時に出演するコラボレーションコンサートを実施した(合計8回)。
- ・なお、こうした取組みもあり、平成26年度は「自主事業公演の動員数」が前年度より4.8%増加した。

##### ●自主事業等を通じた「市民協働」の促進

- ・市民協働の取組みの一環として「区企画委員プロデュース事業」(毎年募集)を行っているが、「ダンスのワークショップ」と「自由演奏会」などを積極的に行い、いずれも次回公演を期待する声が多く、大変好評だった。

##### ●「予防保全」も強く意識した、安全・安心の維持管理

- ・舞台設備、エレベーター、エスカレーター等の機械設備については、保守点検の着実な実施などによって、概ね不具合は見られておらず、「安全・安心」の維持管理を実現できている。
- ・開館3年を経て設備の老朽化も見据えて、音響設備等のUPS(無停電電源装置)を故障前に取り替えるなど、「予防保全的な対応」にも積極的に取り組んでいる。

団体名

神奈川共立・ハリマビシステム共同事業体



## 4 市の文化政策等に対する見解

## 市の文化政策等について重視する事項

## 「横浜市概況」に対する見解

## 「全体（概要）」に関して

## ●全体的な認識・理解

- ・「横浜市概況」については、下表の通り、論点等を整理・集約しているが、当共同事業体としては、こうした状況をよく認識し、重く受け止めた上で、本施設の運営・管理に当たっていく。
- ・特に、市の財政状況については、地元企業として、かつ、市内文化施設の管理者として十分認識している。一方で、文化芸術の多面的役割を踏まえた「文化芸術施策への市の重視姿勢」に賛同しているが、『様々な制約』（特に財政面）の中で、優先順位やバランスを考慮した取組がより一層求められると考えている。

テーマ（分野）	概要（論点等）
日本社会の現状と今後	・「少子高齢化」が進展し、平成37年、団塊の世代が75歳を超え、高齢者が約100万人と大幅に増加。 ⇒子育て世代減少や出生数低下などにより、「労働力・消費の減少」「医療費・社会保障費の増加」「福祉・医療サービス等の需要増加」などの課題あり。
横浜市の財政状況	・義務的支出が増加。 ・「市税収入が伸びない」という厳しい状態。
都市の活力維持の方策	・「子育て環境の整備」「子ども・若者の育成」「女性がいきいきと社会で活躍できる環境づくり」「シニア世代のスキルなどが存分に発揮される場の創出」など、あらゆる世代のポテンシャルを十分に発揮できるようにする。
文化芸術（施策等）に関する「横浜市の取組や考え方」	・都市の諸課題に様々なアプローチが可能と考え、「文化芸術に着目した施策」を推進してきた。 ・文化芸術は、下記のことを可能にする。 ①様々な社会属性を超えた共感を生み出す ②人と人との絆を育むことに力を発揮 ③その活動によってコミュニティを形成 ④都市に魅力を与え、都市ブランドを育成 →国際的に「選ばれる都市」へ ・横浜らしい特色のある優れた文化芸術を発信していく。 →賑わいの創出、経済の活性化、市民生活の向上（市民還元）へ ・文化芸術は、人口減少社会においても「都市の持続的な発展」をもたらす。

## 「指定管理期間（平成28～32年度）における市をとりまく状況」に関して

## ●全体的な認識・理解

- ・「指定管理期における市をとりまく状況」については、下記の通り、論点等を整理・集約しているが、当共同事業体としては、下記の3テーマに考慮し、本施設での事業等を効果的に進めていく。とりわけ、「市の周期的事業」及び「SNSの活用」については、積極的に取り組んでいく。

テーマ（分野）	概要（論点等）
文化芸術関連の横浜市の周期的事業	・ヨコハマトリエンナーレ：3年に一度開催。 ・平成24年度より、トリエンナーレ非開催年に、横浜芸術アクション事業の「ダンス」「音楽」を開催。3つの事業を周期的に開催。 ⇒取組が地域に広がり、横浜の文化の力を世界に発信し、市民の活力増進へ。
2020年東京オリンピック関連の動き	・2020年夏、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定。オリンピック憲章で、開催国での文化プログラムの実施が義務化。 ・日本では、該当年（2020年）だけでなく、リオ大会（2016年）終了直後から、国全体で「文化プログラム」の実施を予定。 ⇒横浜市内全域で「祝祭感」が高まり「横浜市民の文化力の発信」が期待される。
「SNS」の普及・活用	・市民ニーズが多様化し、スマートフォン等でICTが急速に発展。ソーシャルネットワークサービス（SNS）を利用することで、情報を入手し、新たに築いた仲間で情報・意見交換することが容易になった。 ・SNSをプロモーションやマーケティングに活用し、成功している企業や団体が増加。 ・従来型の一方通行的な広報・広聴手段だけでは事業が困難になっている。 ⇒「SNS」による積極的な取組が必要。

団体名

神奈川共立・ハリマピステム共同事業体

## 4 市の文化政策等に対する見解

### ●「横浜市の周期的事業」について

- ・近年、横浜市が政策として特に力を入れている「芸術関連の周期的事業」については、まさに、文化芸術振興の「最前線の現場」で業務をしている指定管理者として、積極的に協力することは基本的な責務と考えており、従来から、様々な協力を行ってきた。
- ・本施設では、毎年度、市の事業に関連する自主事業(コンサート等)を開くとともに、市に対し、情報提供や相談に率先して応じていく。なお、本施設での協力実績(主なもの)について、下記のとおり。



### 【本施設での協力実績(予定含む)】

#### \*横浜音祭り 2013

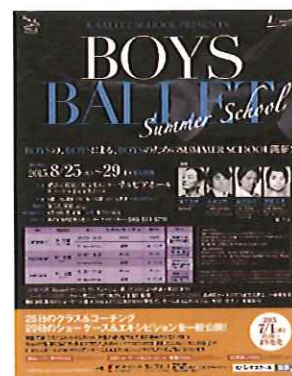
##### 「いわさきちひろと吉田恭子の世界」

- ・2013年9月実施済み。いわさきちひろファン、クラシックファン、子供にクラシックコンサートを鑑賞させたいファミリーなど、多様な層を対象。事前申込の小学生7人が舞台上、吉田氏の指導の下、ピアノとのジョイント演奏を行うなど、子供達が「音楽の楽しさ」を体感する貴重な機会となった。

#### \*DANCE DANCE DANCE @YOKOHAMA 2015

##### 「K-BALLET SCHOOL PRESENTS BOYS BALLET Summer School」

- ・2015年8月末実施予定。国際的に著名な男性バレエダンサー熊川哲也氏が率いるKバレエカンパニー直属スクールの全面協力で、男子限定バレエ講習会を開催。優れた教師陣による3日間のレッスンに加え、舞台での個別指導、観客の前に披露する成果発表会など、特別プログラムで構成。



### ●「SNSの活用」について

- ・SNSの活用には全面的に賛成であり、本施設では、以前から取組に力を入れている。
- ・まず、『ツイッター』については、3年前(平成24年)から導入しており、本施設の各種事業(イベント・プログラム等)をはじめ、行政や地域の情報、防災・防犯関連、スタッフの働きぶりなど、多様な情報を頻繁に流している。本施設オリジナルキャラクター「サールくん」(※詳細は様式25参照)がつぶやく形式になっており、語り口も親しみやすく、幅広い層から好評を得ている。
- ・平成27年度5月からは『フェイスブック』も開始しているが、二期目には、ここ数年で爆発的に普及し、子供からお年寄りまで幅広い層に利用されている『LINE(ライン)』(※詳細は様式25参照)を導入する予定である。こうしたSNSは、パソコン等の基本操作スキルがあれば、使い方は簡単である。また、情報発信においては、「即時性」が非常に高く、より多くの人に「すぐに、確実に」メッセージを届けられるという点で、他の媒体と比べて、大きな優位性がある。
- ・ITやインターネットの普及など、高度情報化は時代の大きな流れであり、本施設の管理・運営(特にお客様サービス)では、今後も、速やかに対応していきたいと考えている。
- ・ただし、一方で、パソコン操作をはじめ、IT対応が困難な層(高齢者、障がい者の方々など)が少なからず存在することも確かであるため、こうした方々への情報提供の手段を確保し、幅広く情報を伝える取組みもきちんと行っていく。いわゆる“デジタル・デバイド”(情報格差)の解消にも努めていきたい。

## 「国レベルの法令等」に対する見解

### 「文化芸術振興基本法」(抜粋) に関して

#### ●全体的な認識・理解

- ・当基本法で示されている「文化芸術」に関する4つの役割の中で、「人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供」及び「多様性を受け入れられる心豊かな社会を形成」の2つの項目については、多文化共生のまちとしての「鶴見区」の特性や、“絆”が再認識された、東日本大震災以降の近年の状況を踏まえると、まさにその通りであると認識している。
- ・とりわけ、本施設管理の二期目では「地域ネットワーク形成」(文化的コモンズ形成)や「ソーシャルインクルージョン」(社会包摂)が強く求められており、一期目の当初より「文化芸術振興を通じた、区民の交流(つながり強化)」を目指してきた当共同事業体としては、引き続き、こうした国の基本方針も重視しながら、本施設の運営管理を効果的に行っていきたい。

団体名

神奈川共立・ハリマビステム共同事業体

## 4 市の文化政策等に対する見解

### 「文化芸術振興基本法基本の方針（第三次）：基本的視点」に関して

#### ●全体的な認識・理解

- ・当方針の内容には、横浜市だけでなく、近年の自治体の文化政策をけん引するような基本的かつ重要な指針が多数示されており、当共同事業体として重視している。特に「文化芸術の特性」として挙げられている「将来世代のために継承すべき価値、コミュニティへの教育価値といった社会的便益(外部性)を有する公共財」という考え方に深く共感している。
- ・また、今回、本施設の役割で重視されている、文化芸術の持つ「社会包摂の機能」について、当方針策定時点で先駆的に言及されており、あらためて「ソーシャルインクルージョン」(子供・若者、高齢者、障がい者、失業者、在留外国人等の社会参加の機会をひらく基盤づくり)の重要性を認識している。

#### ●「公共政策としての文化芸術振興のあり方」について

- ・当方針内では、文化芸術を「過去から未来へと受け継がれる国民共有の財産」と捉えられており、この特性を踏まえ、『短期的な経済的効率性を一律に求めるのではなく、長期的かつ継続的な視点に立って施策を講ずる必要がある』との考え方が示されているが、その通りと思われる。
- ・当代表団体(神奈川共立)は、舞台芸術をはじめ、文化ホール等で各種の事業に深く関わり、地域の文化芸術振興に寄与してきたが、その長年の経験から、文化芸術活動を個人レベルで普及させること、さらに、地域全体に根付かせていくことの「大きな手間(困難さを含む)」を以前から痛感している。しかも、そうした活動は個人的趣味性、または逆に公益性が高いことなどの理由により、本来的に「営利性や経済性を追求しにくい面」がある。こうした観点から、「経済効率性に一辺倒ではない、長期的かつ継続的な視点」は非常に重要と考える。
- ・一方で、指定管理者制度では、公募等により、一定期間ごとに管理者が代わる可能性も十分あり、文化の「継承」という点で不安定な面もある。ただし、私たちは、これを否定的に捉えるのではなく、行政や地域が担うべき包括的・長期的な役割の中で「指定管理者(特に民間企業)として何ができるか」を追求し、まずは、目前のやるべきこと(利用者対応・自主事業等)をやり抜くことを第一に考えている。
- ・その上で、行政や地域の人々と連携し、そこで得た情報・資源・活動結果等を記録し、関係者で共有する。そうして蓄積した記録を、IT等も活用して外に広く公開(情報発信)していくことが重要である。その時々で各活動主体が変わったとしても、こうした一連の動きを地域全体で継続的に行えれば、中・長期的には地域の“財産”となり、そうした文化の継承と発展は可能であると考える。

#### ●「個人・企業・NPO・NGOなどの民間団体等による自発的な支援」について

- ・当方針内の「3) 社会を挙げての文化芸術振興」では、地方公共団体(自治体)の主たる役割が指摘されるとともに、「企業メセナ活動、アートNPOの活動など、個人、企業、NPO・NGOなどの民間団体等による自発的な支援も不可欠」とされ、こうした主体について、“新しい公共”の担い手として、その自立的活動の促進が望まれている。
- ・これは、まず、地域内で多様な主体が文化芸術活動に関わることにより、「地域の芸術文化が活発化」する点で望ましい。また、「各主体との関係(つながり)が深まる」という観点からも効果的と考える。こうしたことは、今回、二期目の指定管理で重視される「地域ネットワーク形成」(文化的コモンズ形成)を促進していく上で重要であると考える。
- ・さらに、前述の通り、市財政の厳しさを踏まえると、多様な民間主体(特に民間企業)による金銭的支援(協賛等)は、増加傾向の管理経費全体の軽減(指定管理料増加の抑制)にも一定の効果が期待できる。

### 「横浜市の政策(方針)」に対する見解

#### 『中期4か年計画(平成26~29年度)』に関して

#### ●全体的な認識・理解

- ・当計画で示されている「地域の文化芸術活動の拠点機能」については、当代表団体は、まさに、本施設をはじめ、市内の複数の区民文化センターの指定管理者になっており、長期間(10年近く)、この拠点機能を担うために日々の業務をしてきたことから、その重責は十分理解している。
- ・また、文化施設を含む公共施設の老朽化(事故・トラブルの急増、維持管理費の増大等)が全国的にも問題になっていることから、「文化施設の維持保全」も重視しており、今後は、ハード面の安全・安心のため、「長寿命化の対策」(ライフサイクルコスト削減)をはじめ、維持管理面の工夫をより一層進めていきたいと考えている。

団体名

神奈川共立・ハリマビステム共同事業体

## 4 市の文化政策等に対する見解

テーマ (分野)	概要
文化芸術活動への支援	・市内全域で市民の文化芸術活動を支援 ・ <b>地域の文化芸術活動の拠点機能</b> を確保 ⇒地域コミュニティの活性化
次世代育成	・子ども達や <b>新進アーティスト育成</b> など、次世代育成の取組を充実 ⇒子どもの豊かな感性や創造性を育む ⇒多様で優れた文化芸術の継承・創造
創造都市の取組(アーティスト・クリエイター集積等)	・歴史的建造物等を活用した創造界隈拠点等の創造都市の取組をプロモーションで認知度向上。企業・NPO・大学等と連携でアーティスト・クリエイターの集積と育成 ⇒産業化に結び付け&横浜経済の活性化 ⇒創造性をいかしたまちづくり
文化施設の維持保全	・文化施設のポテンシャル発揮のため、計画的な施設機能の維持・保全・更新
その他 (横浜らしい地域文化資源の活用等)	・横浜らしい街並みや景観、歴史・文化的資産等を活用 ⇒美しさや潤い、楽しさや活気に満ちた魅力あふれる都市空間形成を推進 ・横浜トリエンナーレ等、横浜らしい特色のある芸術フェスティバルの継続的な開催 ・「東アジア文化都市」の取組:アジアの文化ハブとして国内外へ横浜の魅力を発信 ・横浜の魅力である港・街並み・景観・歴史的資産等をいかした都市デザインを推進

## ●「新進アーティスト」(若手アーティスト育成)について

- ・若手アーティスト育成の考え方についても、強く支持している。本施設では一期目から、主に「レジデントアーティスト事業」(※詳細は、様式21等を参照)を通じて、重要な課題として取り組んでいる。
- ・その理由は、芸術文化振興においては、その「担い手」を作ること、しかも「その層を厚くする」ことが、活動の継続・発展の点で何より重要であるからである。ただ、育成には相当な手間や時間がかかるが、一つの企業や施設だけで取り組んでも、大局的にはその効果は小さいものだとも認識している。
- ・しかし、私たちは、公共文化施設の指定管理者の役割として、「ハード(建物・設備)の管理」もさることながら、「ソフト(文化芸術活動とその所産)の擁護・育成」を重視しており、それが自分達の仕事であるとの意識が強い。ソフトを創作し、実践していくのは、まさに「人」であり、その中核となる「アーティスト」を育成することは、私達にとって重要な責務である、と常に考えている。
- ・なお、若手のアーティストは、立場や身体面から、ベテランと比べて柔軟に動ける方が多く、社会と広く関わり、地域への貢献活動がしやすい位置にいる。いわゆる「アウトリーチ活動」の担い手として相応しく、実際にも、若手アーティスト達と日常的に関わる中で、こうした考えを持つ人も多い。
- ・したがって、若手アーティストを育成するということは、アウトリーチ活動を通じて「地域の人達へのサポート」、とりわけ、「普段はホール等への来館が困難な、障がい者、高齢者など、様々な立場にある方々」が文化芸術に触れる機会づくりにもつながる。こうした点からも、今後も、「若手アーティスト育成」に率先して取り組んでいきたい。

## 『横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方』に関して

## ●全体的な認識・理解

- ・地域に密着した文化芸術振興を担う「区民文化センター」の指定管理を長年、各地で行っている立場からも、下記のうち、特に「市民の文化芸術活動の支援」及び「次世代育成の推進」を重視している。
- ・先に詳述した通り、こうした活動を積極的に実施することによって、「地域の文化芸術の振興」だけでなく、「地域内の関係づくり(つながり強化)」や「コミュニティの活性化」につなげていきたい。

項目	概要
基本理念	・人々の活力や創造力の源泉として文化芸術を振興 ⇒市民生活の向上 ・文化芸術のもつ創造性を様々な施策に生かして、 <b>コミュニティを活性化</b> ⇒創造的なまちづくり ・横浜の社会資源を生かした創造的な取組、人々に感動を与える文化芸術の展開 ⇒賑わいづくりと経済の活性化
基本方針	①市民の文化芸術活動を支援 ⇒心豊かな市民生活の実現 ②子どもたちをはじめとする次世代育成を推進 ③アーティスト・クリエイターを支援 ⇒創造性を生かしたまちづくり ④横浜らしい先進的な文化芸術を国内外に発信 ⇒賑わいづくり・観光 MICE 振興

団体名

神奈川共立・ハリマビステム共同事業体